

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	1290200037		
法人名	株式会社ヘルシーサービス		
事業所名	ガーデンコート千葉さつきが丘(ユニット1)		
所在地	千葉県千葉市花見川区畑町73番		
自己評価作成日	令和5年2月15日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/12/index.php">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/12/index.php</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社アミュレット		
所在地	東京都中央区銀座6-13-9 GIRAC GINZA8階bizcube		
訪問調査日	令和5年3月23日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

<p>コロナにより制限もあるが、できるだけ外気浴や散歩にお連れし、外からの刺激を受けられるよう配慮している。また、下肢筋力低予防の為、階段昇降運動などもしていただいている。</p>
--

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

<p>コロナ禍で全体での外出行事や地域行事への参加などは難しい一年となりましたが、「お客様と楽しく過ごす」ことを目標に掲げて、ホーム内で楽しめることを積極的に取り入れて生活の活性化に努めています。移動パン屋での買い物やホーム内での季節行事、イベント食の提供などを通して楽しみの拡充につなげています。日々の活動についてはホームページ上のブログを通して発信し、面会を控えている家族の方にもホーム内での生活の様子が伝わるように配慮しています。今後は生活の幅を広げていくために、新型コロナウイルスの感染状況を見て、地域の方との関りや外出機会を増やし生活の幅の拡充を目指しています。</p>
--

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2. 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3. 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3. たまにある <input type="radio"/> 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度 <input type="radio"/> 3. たまに <input type="radio"/> 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている <input type="radio"/> 2. 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3. あまり増えていない <input type="radio"/> 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2. 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2. 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	フロアに理念を掲示し、常に意識してもらえるよう努めている。	会社の社是、サービス方針、サービス宣言をホーム内に掲示して常時目に留まるようにして常に意識を高められるようにしています。またホームでも「お客様と楽しく過ごしていく」ことをスローガンに掲げて明るく楽しいホームづくりを目指しています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナの影響で、直接地域とのかかわりは難しいが、以前レク等のためお連れしていた関係各所へ連絡を取りまた参加できるよう意志を伝えている。	今年度はコロナ禍の影響もあり、地域行事も中止となり地域との積極的な交流はできませんでした。今後はコロナ禍の収束を見てこれまで利用していたお店を活用したりデイサービスとの交流などの再開を目指しています。	コロナ禍収束を見据えて、地域との交流を今後どのように進めていくかについても検討し、地域との交流が少しずつ前進できるとよいと思います。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナの影響でなかなか難しいところもあるが、本来なら実習生受入れの受入れ、職場見学等の受入れを実施している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	お客様の総体的な現状の報告、個々のケース報告やイベント等の報告を行い、抱える問題点について、構成員の皆様のご意見、ご要望をお伺いして、改善に努めている。	運営推進会議は2ヶ月毎、今年度はコロナ禍の影響もあり書面開催という形式で実施しています。利用者の状況やホームの運営状況、事前に収集した意見等を議事録にまとめて地域包括支援センター、民生委員、医療機関、家族へ送付しています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	コロナ禍において、感染対策や物資の支援等でご指示、連携を取らせていただいた。	運営上相談事が生じた際には市の担当課へ連絡を入れて必要な指示を仰いでいます。今年度は新型コロナウイルス対策として、ワクチン接種の情報や感染者が出た際にも情報を共有して協力体制を築き運営を進めています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	運営推進会議と並行して、身体拘束廃止委員会を立ち上げ、廃止取り組みの情報報告をし、スタッフにも周知させている。	身体拘束の無いケアの実践に向けて、身体拘束適正化委員会を定例化して2ヶ月毎の運営推進会議で検討内容を報告しています。ホーム内でも身体拘束廃止をテーマにしたオンデマンド研修を実施して職員一人一人の意識を高めています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	どんな行為が虐待にあたるのか、研修を通して全スタッフが共有できるようにしている。今後も意識を維持していく為に研修を行っている。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(ユニット1)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	オンライン研修にて権利擁護の研修を実施し、その中で成年後見人について学ぶ機会を設けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	口頭だけではなく、必ず書面でその内容等をお伝えし、ご質問を受ける機会を設け、ご理解とご納得をいただいている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	各計画作成担当者からご家族様へは綿密に連絡を取るようにし、ご意見をいただく体制を整えている。些細なことでも、逐一ご家族様に報告をしている。	家族からの意見や要望については面会時に直接確認するほか、外部評価時の家族アンケートを通して確認しています。利用者からの意見や要望は日常会話から収集しています。意見や要望等が表出された際には速やかに対応しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者に話しにくいことは、現場職員が相談役となり、パートスタッフの意見を聴取するようにしている。	3～4ヶ月に一度、管理者が職員と個人面談を実施し職員個々の意向や要望等を確認しています。また事業所会議内でも意見などを確認して、職員からの意見に基づき支援や業務の見直しにつなげています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	定期的な面談を行うことにより職員個人個人の意向を把握するようし、目標設定を共に行うようにしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月研修を実施。また、外部から講師を呼び、より実践的な話をもとに実践に役立てられるよう手配している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	会社全体で研修の講師を育成し、各現場へ波及させる試みを行っている。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(ユニット1)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	お客様の希望を尊重し、お客様が納得し且つ、安全なサービスを提供できるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	最初の見学していただく段階で、お客様もしくはご家族様が困っていることを聞き、こちらでできることの提案をさせていただいている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	介護用品使用の見極めやできるだけ自立支援を目的として、オムツの使用を減らすよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活において職員と共に料理、洗濯、買い物等を一緒に行うよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族にお客様の様子がわかるように写真つきのお便りを毎月送らせて頂いています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍の面会自粛ではあるが、お客様の以前お付き合いのあったご友人様の来訪等、可能な限り受け入れている。	馴染みの人や場所との関係継続に向けた支援では、コロナ禍のため馴染みの場所へお連れすることはできませんでしたが、利用者の友人が面会に訪れたり、今後は家族との外出も許容し、馴染みの場所への外出なども検討しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	スタッフが会話の間に入り、お客様同士をつなげるような支援をしている。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(ユニット1)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了した後も何かあった際には気軽に相談にきて頂けるような施設を目指すよう努めている。退去された後、再度便りを伺うための電話をしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様の意向を優先し、不可能な場合はご家族様にご意見を頂戴する等して、ご本人様にとって一番良いと思われるケアプランを作成し、ご承諾をいただき、実際のケアに活用している。	利用者の思いや意向については日常会話からの収集のほか、ケアプランの作成および更新時に実施するアセスメントにおいて確認しています。抽出した意見や要望、課題等はケアプランに反映し日々の支援に反映できるように努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	モニタリングシートやサマリー等を作成し、職員と情報共有をしている。また、アセスメントシートなども確認するように促し、情報の積極的な収集を促すよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の申し送りや、連絡ノートでの情報共有を徹底している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族様、お客様、提携医療、管理者、計画作成担当者、現場職員の意見を取り入れ、介護計画に反映させている。	アセスメントで抽出した情報、利用者本人、家族、職員の意見を担当者会議で話し合い、総合的な意見を踏まえてケアプランを作成しています。ケアプランの進捗については毎月モニタリングで確認し、6ヶ月毎短期目標を更新しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人日誌、業務日誌を管理者、計画作成担当者が確認、申し送り時に現場職員との情報共有を行い、介護計画の見直しが必要な情報を見落とさないようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様等と密に連絡、ご要望を連絡して頂けるようお願いしており、出来る限り対応するようにしている。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(ユニット1)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナの影響で、現状できてはいるが、落ち着いたらできるだけ外食、買い物等参加していただく環境を整える。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医療機関と契約するか否かをメリット、デメリットを伝え選択していただいている。	協力医療機関とは訪問診療を通して連携を図ることができており、主治医も定期的にホームに訪れています。利用者の体調変化時にも迅速に対応できる体制があり、24時間連絡が取れる体制であり緊急時の迅速な対応も可能としています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	提携医療機関の看護師と連絡を取り、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	お客様の主治医、各病院のソーシャルワーカーとの関係を密接にとっています。お客様が入院の際には、入院先の医師・病棟看護師に直接情報提供を行い、安心して過ごせるような支援を行なっている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご契約時に事業所でできることを説明しており、お客様とご家族様の希望を出来る限りかなえられるよう、提携医療等との連携を密にとっている。	重度化した場合や終末期の対応についてはホームでできること、できないことを利用契約の際に説明しています。現状看取り支援は行っていませんが、重度化によりホームでの生活が難しくなった際には、今後の方針を家族も交えて検討しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急時にはフローチャートを作成し、管理者、提携医療、ご家族様の判断を確認することを徹底しております。また、マニュアルを作成し、職員が閲覧できるようにしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の実践的避難訓練の実施と、災害時を想定した人数分の備蓄の確保を行っている。	日中及び夜間を想定した避難訓練を計画的に実施しています。またオンデマンド研修を通して非常災害時の対応について全体で確認しています。水害状況についてもハザードマップで確認しています。備蓄品についてもホーム内に完備しており、消費期限なども適宜確認して必要時に確認できるようにしています。	今後に向けては、作成義務となった事業継続計画(BCP)についても段階的に準備を進め作成し、災害発生後における運営方針の明確化を期待します。

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(ユニット1)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様の生活歴を知ることにより、尊敬の念を持ってもらえるよう、個人ファイルの熟読を勤めている。	利用者に対して不適切な対応にならないように、オンデマンド研修を通して接遇やプライバシー保護についての研修を行っています。日常的にも言動や行動等を振り返る機会を設け、適切な対応が図れるように努めています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	押しつけの介護ではなく、ご本人様に選択、決定していただけるような声掛けをおこなっている。また、自己決定が難しい方に関しては、ご家族様のご協力をたまわるなど、施設の意向を優先させることのないよう気を付けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様が入居される前に暮らしていた普通の暮らしをホーム内でも実現できるよう、寄り添える介護を意識している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自身で好みの洋服等を選んでいただき、着ていただく。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	味見や食事準備、後片付けなどの生活行為全般に参加して頂けるよう心掛けている。	日々の食事の準備や後片付けでは、利用者の関りを大切にしていてテーブルを拭いていただいたり食器洗浄後にお皿を拭きなどに関わって頂いています。食事の楽しみに向けては、イベント食の提供や移動パン屋での買い物も楽しみにつながっています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	定期のお茶の時間以外にも、お客様の要望に応じて提供を行っている。水分制限のある方、とろみを利用する方などもいるため、お客様それぞれの状態にあわせて提供し、一日の摂取量を確認している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行っている。また、多くのお客様が訪問歯科を利用されている。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(ユニット1)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	介助が必要な方も、日中はトイレに座っていただくようケアをしている。	排泄については定時の声かけや誘導により、トイレで排泄できるように支援しています。定時に声をかけることで、排泄の失敗が無いように注意を払い対応しています。排泄状況はタブレット端末を使用してデータを入力しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	職員が情報共有できるように、水分食事チェック表を使用して、十分に摂取できているかを確認しています。体操や散歩への参加を促し、定期的に乳酸菌飲料の提供を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	基本ガイドラインは設定していますが、その日ごとにお客様にお伺いをし、ご希望に沿った形での入浴を楽しんで頂けるように心掛けている。	入浴については週に2回入浴できるように支援しています。入浴中は職員が介助について事故が起きないように努めています。入浴中はマンツーマンでの対応のため利用者とのコミュニケーションを深める時間にもなっています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の休息や入眠パターンを把握し、快適な休息、睡眠をとっていただけるよう努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬管理については薬剤師に管理を行ってもらっている。お客様の処方薬は薬局からの説明書面を事務所内にファイリングをして閲覧できる。誤薬防止対策で服薬マニュアル、記入帳票等を活用している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の作業を職員と共に行うように働きかけている。お客様の嗜好に合わせて、編み物を行ったり、色塗りをされたり、今できる範囲内ではあるが、楽しみのある日々を過ごせるように支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍ということもあり、制限はあるが、散歩や人数制限したうえでのドライブ等を実施している。	コロナ禍の影響もあり、全体での外出や地域行事への参加などは難しい状況ですが、少人数で周辺の散歩に出かけて外気欲を楽しんだり、ドライブなども取り入れて戸外に出られる機会を作り、利用者の楽しみの拡充につながるよう努めています。	



グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(ユニット1)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在はお小遣いを管理者が管理しているが、できるだけお客様のご希望に合わせたものを買えるよう、傾聴するようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	お客様のご希望に合わせて、事務所内電話を使用いただいている。お客様によってはケータイ電話を使われている方もいる。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	安全を考慮し、その季節に沿った飾り付けをしたり、花を置くなどして季節感のある過ごしやすい空間づくりを意識している。	季節に合わせた装飾品を掲示するなど季節感が感じられるように各ユニットで工夫しています。日々の掃除の徹底や感染対策として手すりや床、リビングのテーブルなどもこまめに消毒しています。感染対策として換気も定期的を実施しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	席の配置を考えたり、ソファを設置することにより、お好きな方同士でくつろいで頂けるようにしている。また、居室で休みたい方は、ご希望通り居室で休んで頂いている。出来る限りご希望に沿って過ごしていただいている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご入居時に、馴染みの物をご入居後も使っていただくようご家族様にお願いしている。その後も必要となるものに関しては、ご本人様、ご家族様に相談をさせていただいている。	居室の掃除も定期的に行い清潔保持に努めるほか、居室内のレイアウトについても利用者、家族の意向を大切にしています。馴染み品の持ち込みを可能として居心地よく過ごせるように配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	日中の過ごし方として、ご自身でやりたいことを尊重し、実行していただいている。		